

歴史の足跡

北海道医学教育史年表 (4)

札幌市医師会 小竹英夫

明治34年(1901)

4. 1 医学専門学校令公布。これにより、第1・2・3・4・5各高等学校医学部は独立して、千葉・仙台・岡山・金沢・長崎の各医学専門学校となる。

11. 16 開拓使函館医学校教師たりしエルドリッジ、横浜にて死去(享年58)。

この年、関場不二彦・北辰病院研究会を興し、「北海医報」を創刊。昭和17年、雑誌統制令により79号を以て廃刊となる。

明治35年(1902)

11. 16 北海道11州有志大会、札幌に開催され、道民の参政権・大学設置を決議。

完全な自治制施行と、最高学府としての大学設置を要求した決議である。

北海道会法・地方費法が公布されたのは明治34年3月27日で、従来までの国に依存した体制から、まがりなりにも脱却することができたが、なお完全な自治制とは言いがたかった。

札幌県のち北海道から、医学生を本州の医学校に派遣するにも、内務卿・大蔵卿の認可が必要(明治17年の項参照)で、予算の編成は国により、執行にも一々国の許可を要した。

明治36年(1903)

3. 26 勅令により専門学校令公布。

34年公布の医学専門学校令によった千葉・仙台・岡山・金沢・長崎の5医学専門学校は、施行期日の4. 1より新令による専門学校となる。

明治38年(1905)

9. 一 文部省実業学務局長・眞野文二、札幌農学校の現北大キャンパスへの移転新築工事の完成状況を視察に来札し、農科大学への昇格を示唆発言し、大きな反響を呼ぶ。

10. 22 北海タイムス理事・阿部宇之八(北海道帝国大学設立期成同盟会の有力メンバー)、紙上に「北海道開拓事業拡張意見」なる論説を載せ、その中に農学校を大学にと主張し、輿論の喚起につとめる(5回連載(～12.21))。

第5回道会も、北海道に帝国大学を設立し、農工医理の4分科を設けるようにとの建議案を内務大臣に提出。

明治39年(1906)

5. 2 医師法公布。原則として医師は、医科大学及び医学専門学校出身者と定められる。

11. 19 医師会規則発布され、医師会を都市医師会及び道府県医師会とす。共に任意設立、強制加入とす。

この年、文部省は大学増設の必要を認め、仙台に理科大学を設け、札幌農学校を農科大学として合せて東北大学とするの案を樹て、予算案を作製したが、大蔵省はこれを認めず、削除。

11. 21 大蔵省の予算案削除の報に、北海道会、札幌区会が急拠開催され、札幌農学校を昇格し、農科大学とするの建議案を内務大臣に送附。

一. 一 古河財閥。建築費100万円と工事に要する事務費の寄附を申出、事は急転直下解決。東

北大学の分科としての農科大学の設立を見ることとなる。

古河財閥は足尾銅山を経営し、渡良瀬川流域沿岸に深刻な鉍毒被害を起し、轟々たる世の非難を浴びていた。時の内務大臣・原敬は古河の縁戚であり、非難をかわそうとの意もあって、古河を動かし、牧野文相とも相談して、この拳に出させたのであろう。田中正造の直訴問題もあった。

今も北大キャンパスに、古河講堂と名付けられた建物があるのは、この時の名残である。

一、一 第6回道会、速やかに北海道大学を設立すべしとの建議案を内務大臣に提出。

明治40年 (1907)

6. 22 札幌農学校、東北帝国大学農科大学となる (9.1開設)。

一、一 東北帝国大学農科大学の開学に際し、従来の予習科 (2年制) を、旧制高等学校に準ずる3年制の大学附属予科とす。

10. 1 章 克己北海道庁立函館高船学校教諭 (十級 秦任待遇) として、北海道庁職員録に名が載る。章の履歴として判明するのは、これが最後である。

明治42年 (1909)

一、一 第9回道会、医学専門学校を道内に設けるようとの建議案を内務大臣に提出。

明治43年 (1910)

一、一 第10回道会、北海道大学独立に関する建議案を内務大臣に提出。

明治45年 (1912)

6. 16 第1回北海道有志医師大会に於て尾形碧、道立医学専門学校設立を提議、採決さる。

12. 16 衆議院議員・浅羽靖、国会に於て北海道医学専門学校設立の建議案を提出。

医師不足は北海道のみではなかったが、道内に

医育機関をとば官民の与望であった。道民の声の代表が、尾形氏であり浅羽氏であった。

大正5年 (1916)

8. 26 第4回全道記者大会、札幌に開かれ、「北海道に医科大学を新設して総合大学設立の件」が、満場一致で可決、宣言。

大正6年 (1917)

8. 一 第36回臨時議会、北海道に医科大学を設立し、創立費146万円の8カ年継続支出の議案を上程、可決。

大正7年 (1918)

3. 30 勅令第43号は、札幌に北海道帝国大学を置き、従来の東北帝国大学農科大学は、4. 1より北海道帝国大学の1分科となると公布 (総長・佐藤昌介)。

一、一 文部省、北海道帝国大学医学部創立委員を発令。

青山胤通	東大医科大学	学長	内科学	15
隈川宗雄	〃	教授	医化学	16
佐藤三吉	〃	〃	外科学	15
小金井良精	〃	〃	解剖学	13
長与又郎	〃	〃	病理学	37
永井潜	〃	〃	生理学	35
石原弘	区立札幌病院長	内科医長		33
秦勉造	区立札幌病院	外科医長		35

各人の氏名の末尾の数字は、それぞれの東大卒業の年次をあらわす。従って、同じ委員といっても卒業年次には20年以上の差異があることとなる。

創立委員は、東大教授と地元の札幌区立病院から選ばれ、教授候補者の選定にあたったのであろう。

選ばれた初代教授は、第2高等学校医学部卒1 (今)、京都帝国大学福岡医科大学卒1 (香宗我部) のほかはすべて東大出身者であった。